

平成30年度 徳島県立徳島北高等学校 学校評価計画

1 本校の学校経営の基本方針

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組み、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

2 本年度の重点目標

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸ばさせて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

3 本年度の各課・各学年・各教科の取組

(1) 各課

ア 企画課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 総合的な学習の時間の充実を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①授業評価アンケートにおける授業満足度について「満足している」と回答する割合を90%以上にする。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①(7) 探究活動を中心とした内容となるよう、指導計画を再構築する。 ①(4) 第2学年において、発表活動の時間を2回以上実施する。				
2 学校評価においてPDCAサイクルを機能させることにより、魅力ある教育活動を展開し、本校に対する理解度や評価を向上させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①教育目標についての振り返り・再認識ができるよう、分掌での研修を複数回実施する。 ②(7) 出張説明会や国際英語科説明会への参加者数を昨年度以上にする。 ②(4) 学校評価アンケート「リーフレット等により学校評価の重点目標が明確に示されており学校の教育活動について理解している」について「あてはまる」と回答する生徒・保護者の割合を75%にする。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①学校評価研修会を、分掌協議を取り入れるなど、内容について改善を図る。 ②(7) 広報・周知に関する活動を充実させる。 ②(4) HR活動やPTAの会合等の機会を有効に利用して生徒・保護者への周知に努める。				

イ 総務課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 PTA行事を精選し、内容を充実させることによ	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		

り活性化させる。	①PTA総会や学年部会の行事への参加率の平均を60%以上とする。		(評定)		
	②学校評価アンケートの、「PTA行事の趣旨説明や活動についての連絡は適切である」について「適切であった」と回答した保護者の割合を70%以上にする。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①理事数と幹事数の均衡を取る。各会の見直しを図り、内容を充実させる。 ②PTA活動の案内・報告をホームページに掲載し、参加を促す。				

ウ 教務・情報課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 生徒の多様な進路目標の実現につながる教育課程を編成することで、主体的に学ぶ意欲・態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①本校の教育課程について、生徒の進路目標に対応し、個性を伸ばし将来の希望を実現できるよう工夫されていると回答した割合を80%以上にする。		(評定)	
	②教育課程検討委員会、職員会議等の開催回数を学期に1回以上確保する。		(所見)	
	③教科会の開催回数を月に1回以上確保する。			
活動計画	活動計画の実施状況			
2 生徒の目標を明確にさせ、主体的に学ぶ姿勢を育成することで、学習意欲の向上や学力向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①教員において、教科指導における基礎基本の徹底を図っていると回答した者及び学習意欲の向上や学力向上への取り組みができていて回答した割合を95%以上にする。		(評定)	
	②各定期考査において、欠点保持者数を10%以下にする。		(所見)	
	③各定期考査において、成績優秀者（80点以上）の割合を、25%以上にする。			
活動計画	活動計画の実施状況			
	①研究授業週間を設けて（年間2回）、各教科における目標や効果的な指導方法等についての研究を行う。その際、授業評価を行うことで、指導方法の工夫や授業力の向上に努めるとも			

	に、本校生徒の実態や課題について共通理解を図る機会を確保する。 ②各学期末考査前に「弱点教科補強指導講座」を開講し、苦手科目についてのポイントを指導することで、家庭学習の援助を行う。また長期休業中に「基礎学力養成講座」を開講し、基礎基本の定着に焦点を絞り、苦手科目の克服への援助を行うことで、欠点保持者数を減少させる。 ③集会等の機会を捉え、継続的な学習及び意欲の向上についての啓発を行う。				
3 生徒が明確な目標を持ち、主体的に学ぶ態度の育成ができる学習環境づくりや学校運営を行う。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①年間行事計画を見直し、生徒の進路目標等、生徒理解が可能なように年間3回の面接週間を確保する。		(評定)		
	②1・2年の年間授業時数を法定時数の80%以上とする。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①面接週間をはじめ、担任等が十分生徒理解に努められるよう、行事の見直しや校務の精選、学校支援システムの研究に努める。 ②各課・学年等と連携を図り、日程等を調整することで、授業時数確保に努める。また、月曜日の授業については、特別時間割に組み込むなどバランスをとる。				
4 学校支援システムの適正運用に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①期限までに全ての出欠入力を完了する。		(評定)		
	②期限までに全ての学事処理を完了する。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①1週間単位で出欠未入力を連絡する。 ②入力方法についての研修や案内をテスト時や期末に必要なに応じて行う。				

エ 国際交流課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 国際交流に積極的に取り組み、グローバルマインドを持った生徒を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	① 異文化学習の機会を年間2回以上提供する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①外部より講師等を招いて、グローバルな視点に立った考え方や発信の練習をする。			

	②海外からの訪問団を積極的に受け入れ、科を問わず多くの生徒との交流の機会を計画する。				
2 異文化の中で生活できる機会を提供する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①海外研修（語学研修・派遣を含む）の参加者を50名以上にする。		（評定）		
	活動計画	活動計画の実施状況	（所見）		
	①(ア) 海外研修のパンフレットや説明会など情報提供を充実させる。 ②(イ) 派遣プログラムなどの情報収集に努める。 ③(ウ) 事前指導を3回以上実施し、安全実施のための準備を徹底する。				
3 海外姉妹校との交流を活発に行う。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①ニュージーランド・タイ・ドイツ姉妹校とのグループ交流を1回以上行う。		（評定）		
	活動計画	活動計画の実施状況	（所見）		
	①希望生徒を募り、Eメールなどを用いて、現地とのグループ交流を実施する。				

オ 図書課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策	
1 図書館の利用をとおして、学力の基盤となる読書習慣の育成を図り、将来にわたって主体的に学ぶ態度や読書を楽しむ態度を身につけさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①一人当たりの図書館の年間利用回数を8.0回程度を維持する。 ②授業での図書館利用を50回程度を維持する。 ③各教科や総合的な学習の時間に、図書館を利用した授業や図書館の本を活用した授業を推進する働きかけを学期に1回以上して、自主的な図書館利用や、本や雑誌の貸出につなげる。		（評定）		
	活動計画	活動計画の実施状況	（所見）		
	①（ア）各生徒の進路に応じて読んでおくべき本や、楽しめたり、教養を養える本を充実させ、「図書館だより」・「新着図書案内」や館内・館外掲示で広報する。また、テーマ別の企画展示や特集など、わかりやすい館内・館外展示を工夫する。 ①（イ）ホームページにあげることのできる情報を提供し、より多くの人達に図書館活動に関心を持ってもらう。				

<p>①(ウ)読書会等の図書館の企画を広報し、多くの参加者を募る。</p> <p>②(ア)各教科の先生方に、授業に活用したい本や生徒に読ませたい本の購入希望図書カードを配付して利用の推進を図る。</p> <p>②(イ)図書館を利用した授業を、国語科・総学をはじめ各教科と連携して、読書活動や調べ学習を推進する。</p> <p>③(ア)図書館の利用状況、貸出状況を「図書館だより」等で適宜知らせる。</p> <p>③(イ)貸出の低いクラスに働きかけ、学年・教科等の組織的な対応を依頼する。</p> <p>③(イ)長期延滞者に対して丁寧に指導することで改善を図り、継続的な貸出につなげる粘り強い指導をする。</p>				
---	--	--	--	--

カ 生徒課

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策	
1 生活習慣の確立を図り、健全な生活態度を育成する	評価指標	評価指標による達成度			
	<p>①頭髪・服装の違反者を減少させ、再点検指導生徒の割合を0.5%以内にする。</p> <p>②遅刻者の数を昨年度より10%減少させる。</p> <p>③教員による登校指導を月1回、生徒による「あいさつ運動」を学期に1回実施する。</p>	<p>(評定)</p> <p>(所見)</p>			
	活動計画	活動計画の実施状況			
	<p>①月初めのクラス単位の服装頭髪点検、学期初めの学年一斉指導を実施する。常日頃から清潔感のある制服の着こなしができるように、学年団と連携・協力をしながら常時指導を徹底する。</p> <p>②遅刻指導週間を実施するとともに、多遅刻生徒の指導を徹底する。</p> <p>③生徒会や生活委員と協力しながら自発的な挨拶を喚起する。</p>				
2 交通ルールを遵守させ、安全意識の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度			
	<p>①昨年度の自転車交通事故数（28件）を半減させる。</p>	(評定)			
	活動計画	活動計画の実施状況			(所見)
	<p>①(7) 登校指導を月1回以上、徳島北署やPTAとの合同指導を年3回実施する。</p> <p>①(4) 交通事故の状況について、職員・生徒・保護者の共通理解が図れるよう、情報を提供する。</p> <p>①(7) 交通安全講話を実施する。</p>				

3 携帯電話の安全な使い方を通して、情報モラルの育成を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①携帯電話の安全な使い方についての講演会を年1回以上実施する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①各関係機関と連携し、携帯電話安全教室を行い、情報社会におけるモラルを身につけさせる。 ②「人権教育ホームルーム活動」や「情報」の授業においても情報モラル教育を推進する。			

キ 人権教育課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 ホームルーム活動（人権）の他、委員活動や日々の活動など様々な機会をとらえて生徒の人権意識の高揚を図り、啓発活動に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①「人権意識が高まった」と答えた生徒の割合を80%以上にする。 ②「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合を60%以上にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①ホームルーム活動（人権）や行事等で、自分の意見を発言し、他人の意見もしっかり聞くことができるなど、生徒に主体的に参加・体験をさせる。 ②「人権委員会だより」を生徒主体で作成し、ホームルーム活動の展開にも利用する機会をつくり、家庭にも配布するなど啓発活動に積極的に活用する。			
2 全職員でいじめ防止をはじめとする人権教育の充実に取り組む。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①いじめは人間として許されない」と100%の生徒が認識している。 ②「学校は好ましい人間関係の構築のため行事やHR活動・授業に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合を90%以上にする		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	① 教育活動全体を通じて、お互いの人格を尊重し合える校内環境をつくるため、ワークショップや講演会などを実施する。 ②生徒の日常の言動と行動に注意を払い不適切な場合は指導する。			
3 職員の人権研修の機会を多く持ち、人権意識の高揚を図り、啓発に努める。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①職員人権研修の機会を持って、人権意識の高揚を図る。校外の人権研修会への参加を各職員年1回以上持つ。または、外部講師を招いた校内研修会に各教員は年1回以上参加する。		(評定)	

	<p>②職員による人権教育評価において、「普遍的視点からのアプローチ」と「個人人権課題」についてホームルーム活動や教科指導の中で、「実践できた」「だいたい実践できた」と回答した割合を90%以上にする。</p>		(所見)		
活動計画		活動計画の実施状況			
	<p>① 人権教育課は、研修会や講演会を行事計画にできるだけ掲載し、掲載できない分はなるべく早く事前の案内をする。</p> <p>②研究授業を中心に学年別研修を行い、生徒にとって実りあるホームルーム活動にする。また、教科における授業についても人権教育を念頭において実施する。</p>				

ク 特別活動課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
<p>1. 学校行事（学校祭・球技大会等）の活性化を通して、生徒の自主的・自律的な行動を育成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①学校評価アンケートにおいて、生徒一人一人が自己実現の場として学校行事を位置付け、「自主的・積極的に取り組むことができた」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>②学校評価アンケートにおいて、「学校行事や生徒会行事には、生徒の意見が取り入れられている」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>活動計画</p> <p>①生徒会役員が中心となり各行事計画をたて、全校生徒が自己の役割や責任を自覚し、取り組む態度を育てる。</p> <p>②各行事の事前・事後にアンケートを実施し、生徒自身に自らの取り組みについての状況を把握させ、今後の活動に生かせるようにする。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>活動計画の実施状況</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>	
<p>2. クラスや部活動のみならず、それらを超えた幅広い人間関係の構築を図り、ゆたかな心を育成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①学校評価アンケートにおいて「あなたは、学校行事や部活動に友人や仲間と協力して取り組み、友好的な人間関係を築くことができた」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>②教員及び保護者において、生徒が「望ましい人間関係を構築できている」と回答した割合を80%以上にする。</p> <p>活動計画</p> <p>①生徒会や部活動、各ホームルーム委員との連携を図るのみならず、各ホームルームでの人間関係や生徒会や部活動の学年の枠を超えた人間</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>活動計画の実施状況</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>	

	関係を密にさせる。 ②ホームルーム担任や部活動顧問という立場で生徒の人間関係をよく観察し、適切な方向に導くようにする。				
3. 部活動の活性化を通して、生徒一人一人の個性や創造性を伸長させ、何事にも前向きに取り組む態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①年度当初の部活動参加率を全体生徒の80%以上にのみでなく継続率についても追跡調査する。		(評定)		
	②学校評価において、「部活動は、学校生活を充実させるものとなっている」と回答した生徒の割合を80%以上にする。また、保護者や教員の回答においても、80%以上にする。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①新入生対象の部活動紹介を充実させる。入部させるのみならず、その後の充実した活動や部活動の継続も促す。 ②部活動の活動時間を遵守し、各部活動で自主的で積極的な活動が実現できるよう工夫する。				
4. 国際的視野を広げ、社会に貢献する姿勢を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①地球市民講座において事後アンケートを行い国際的視野を持つことができた」と回答した生徒の割合を80%以上にする。		(評定)		
	②生徒会主催行事あるいは部活動において地域や社会貢献に通じる活動を年3回計画する。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①昨年度は、かなり充実した地球市民講座が展開できたので、本年度も充実した内容の講演を計画したい。 ②JRC・ボランティア部が発足したのでさらにボランティア活動に積極的に取り組みたい。とくしまマラソンのボランティア参加についても継続させたい。				

ケ 進路課

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 主体的な学習習慣と確かな学力の育成を図る。 (1) 家庭学習の習慣化を図る。 (2) 確かな学力を身につけさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①家庭学習（塾等での学習を含む）1時間以上の生徒を80%以上にする。また、各学年で平均家庭学習（塾等での学習を含む）「(学年)+1」時間以上の生徒を50%以上にする。		(評定)	
	②「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身につけている生徒の割合を70%以上にする。 ③「学校の授業内容を理解している」と回答した生徒の割合を80%以上にする。		(所見)	
	④1、2年生の学年単位で、補習の出席率を			

	<p>95%以上にする。</p> <p>⑤校外模試における各科目の平均点について、校内平均点が全国平均点以上となるようにする。</p> <p>⑥教員の教科指導研修会への参加率を高める。</p>				
	活動計画	活動計画の実施状況			
	<p>①進路説明会等で、家庭学習の現状とその重要性を保護者に十分理解してもらい、協力を要請する。</p> <p>②生活学習記録表や生活実態調査を通して、現状の把握に努める。家庭学習が1時間未満の生徒には、保護者と連携しながらホームルーム担任が面談を実施し、原因の解明と改善を図る。</p> <p>③「予習」「授業」「復習」の学習スタイルを確立させ、課題や確認テストを実施し、授業内容の理解、定着を図る。</p> <p>④補習に参加することの重要性を繰り返し指導する。遅刻・欠席が目立つ生徒には、ホームルーム担任、学年主任と連携し、段階的に指導を行う。</p> <p>⑤校外模試実施後に訂正ノートを提出させるなど、間違えた箇所の見直しをさせる。教科会で模試の検討を行い対策を練る。</p> <p>⑥教科指導研修会の周知を図り、事後は研修内容の共有化を行う。</p>				
2 キャリア教育を推進し、早期に進路目標を設定させ、主体的に自分の進路を決定させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	<p>①1、2年次にオープンキャンパスや看護体験などの体験活動に1回以上参加し、事後の振り返り（記録）を行う生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>②大学の講座や体験授業などに参加する生徒の割合を高め、事後の振り返り（記録）を行う生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>③2年生の11月末の進路調査で、「進路目標が明確になっている」と回答した生徒の割合を95%以上にする。</p>		(評定)		
	<p>(所見)</p>				
	活動計画	活動計画の実施状況			
	<p>①あらゆる機会を通じて、「将来の自分の生き方」を考えさせるとともに、体験的活動の広報に努め、2年生終了までには必ず1回は参加させる。各課と連携し自主的に職業研究、学問研究、大学・学部・学科研究に取り組ませる。</p> <p>②講座や体験授業などの広報に努めるとともに、振り返りを行うための各種様式を整える。</p> <p>③生徒や保護者に進路情報を提供し、各自の進路目標を設定させ、その実現に向けて主体的に学習する態度を育成する。また、「若楠」や「進路ニュース」を活用し、進路意識の高揚を図る。</p>				
3 生徒の個性や創造力を伸ばさせて、進路希望を	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		

実現させる	①就職希望者や保護者と定期的に面談を行い、2学期末までには、就職未決定者をゼロにする。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①企業就職希望者と早い時期から面談を重ね、希望の業種や職種を絞り込み、希望する企業から求人を得られるよう、精力的に職場開拓を行う。 ②公務員希望者には、公務員試験対策の専門家を学校に招き講習会を実施し、社会性の確立を目指す。 ③就職・公務員模試を年間6回実施し、進路を実現する確かな学力の向上を図る。				
4 地域社会に貢献できる人材の育成に向けキャリア教育を推進し、自主的な行動力を身に付けさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①就職ガイダンスや公務員セミナーなどの体験的活動を通して、主体的に自ら考える力を育て、就職を希望する生徒全員が、希望する進路を実現できる。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①望ましい職業観・勤労観の育成に向け、職業別説明会(1年)、公務員セミナー、就職ガイダンス(2年、3年)等の体験活動により、職業理解や働く意義を学ばせる。 ②卒業後就職したい仕事を自らが見つけ、その目標に向け、継続的に努力し、自主的な行動力が身に付くように導く。				

コ 環境・防災課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標(と活動計画)	評価	学校関係者評価	次年度への課題と方策	
1 校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①節電・節水を意識した学校生活を送り、前年度比3%使用量を節減する。 ②年間3回以上「ゴミ0の日」を設定し、学校全体で環境問題について考えさせるとともに環境防災委員以外の個人参加者を毎回50人以上とする。 ③校外で行われる環境美化及び環境問題に取り組むボランティア事業の参加を呼びかけ、年間で12名以上の参加者を募る。		(評定)		(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①掲示物や環境防災委員からの声かけ等により、トイレでの日中の節電や移動教室時の消灯、節水の徹底を呼びかける。 ②校内及び学校周辺、勝瑞駅等の清掃ボランティア活動を、環境防災委員や部活動生徒が中心				

	となつて積極的に行う。 ③積極的な案内を行い、参加を募る。また、その間想や体験談を各クラスに知らせる。				
2 防災教育を推進し、身近に潜む危険から自らを守るのみならず、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる、人材を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①地震・津波及び地震・火災対応避難訓練を、それぞれ年1回早期に実施する。		(評定)		
	②環境防災委員に啓発放送等を行わせて、防災に対する意識を高める。		(所見)		
	③校外で行われる防災関係の行事を案内し、12名以上の参加者をつくる。		。		
活動計画	活動計画の実施状況				
	①②③学校行事やHR活動の時間を利用し、専門家の講演やDVD等の防災教材により、様々な危険や災害に、自主的に対応できるよう防災意識の向上を図る。				

サ 保健・教育相談課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		学校関係者評価	次年度への課題と方策
1 自分の心や体の健康に関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	①学校評価アンケートにおける「あなたは、自分の心やからだの健康に関心を持ち、健康な生活を送るよう心がけている」に「あてはまる」と回答した生徒の割合を85%以上にする。		(評定)		
	②学校評価アンケートにおける「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について、「あてはまる」と回答した生徒及び保護者の割合を85%以上にする。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①生徒保健委員会において生徒の自主的な活動を推進し、学校全体の生徒の保健意識の向上や啓発を図るために、次の活動を行う。 (ア) 石けんの点検・補充 (イ) 文化祭で健康意識の啓発展示 (ウ) 保健ホームルーム活動 (エ) 保健だよりのポイント説明・配布 ②生徒の心身の健康管理及び保健指導の充実を図るために、次の活動を行う。 (ア) 保健だよりを年間10回以上発行する。 (イ) 応急処置を適切に行うとともに、担任や特別活動課、保健体育科等との連携をさらに密にする。				
2 生徒がはつらつとして充実した学校生活を送れるよ	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		

う支援する。	<p>①カウンセリングデーの相談室待機を100%にする。</p> <p>②毎月、不登校傾向にある生徒や気になる生徒の把握をして、カウンセリングの実施等の適切な支援を図る。</p> <p>③不適応の症状が見受けられる生徒の把握に努め、早い段階で校内の関係者との連携を図る。</p> <p>④人間関係づくりワークショップの実施後のアンケートで「有意義であった」と答えた割合を85%以上にする。</p> <p>⑤特別支援教育の取り組みを保護者に年2回以上説明する。</p>		(評定)		
	<p>活動計画</p> <p>活動計画の実施状況</p>		(所見)		
3 食堂やパン販売の利用について正確な情報を伝え、マナーを守った気持ちよい利用の推進を図る。	<p>①カウンセリングデーの広報をする。</p> <p>②(7) 課内会議やケース会議を随時開催する。 (4) 必要に応じてスクールカウンセラー派遣の要請をしたり、関係機関との連携を図る。</p> <p>③担任・学年団や人権教育課からの情報収集に努め、共通理解を図り、生徒の支援をする。</p> <p>④人権教育課と協力して有意義な実施に努める。</p> <p>⑤PTA総会等の機会を利用する。</p>				
	<p>活動計画</p> <p>活動計画の実施状況</p>				
3 食堂やパン販売の利用について正確な情報を伝え、マナーを守った気持ちよい利用の推進を図る。	<p>評価指標</p> <p>①食堂の営業日・営業時間の連絡を100%正確に行う。</p> <p>②学期に1回以上は、生徒の利用状況の把握に努める。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>		
	<p>活動計画</p> <p>①営業日やメニューの教室掲示を適切に行う。 ②生徒の利用状況を把握するために、必要に応じてアンケートを行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>	<p>(所見)</p>		
4 公共物をマナーを守って利用し、公共心の育成に努める	<p>評価指標</p> <p>①セミナーハウスの使用について、正しく利用できた割合を90%以上にする。 ②厚生委員会主催の大掃除を年2回は実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p>		
	<p>活動計画</p> <p>①(7) 定期的に点検を行う。 ①(4) 貼り紙等を掲示することで意識の向上を図る。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>	<p>(所見)</p>		

	①(ウ) チェックリストを作り点検時に活用する。 ② 1学期末・2学期末に大掃除を行う。				
5 福祉的な募金活動に協力する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	① 福祉的な募金活動に年2回以上協力する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	① 厚生委員会の各クラスの生徒厚生委員の活動として計画する。				
6 奨学金の事務処理を正確に行い、奨学金を申請する生徒の進路実現につなげる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価		
	① 奨学金の事務処理を正確に行い、申請する生徒の100%が正しく申込み、進路実現につなげるようにする。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①(ア) 情報提供及び連絡を正確に行う。 (イ) 奨学金の校内締切を守らせる。 (ウ) 個人情報の含まれる書類の取り扱いには十分注意を払う。 (エ) 申請書類を複数態勢でチェックする。				

(2) 学年

ア 1学年

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		次年度に残された課題と方策
1 生徒一人一人の進路目標に応じたコース・科目選択ができるように、目標を明確化させ、自主的・主体的に学ぶ態度を育成する。 (1) 学習習慣の確立を図る。 (2) 基礎学力の定着を図る。 (3) 個々の個性や能力に応じた、望ましい職業観を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	① 家庭学習ゼロ時間の生徒を5.0%未満とし、平均家庭学習時間を120分以上とする。		(評定)	
	② 各学期ごとの欠点保有者を3.0%以内にする。		(所見)	
	③ 学外のボランティア活動や大学見学等に、年三回以上参加した生徒を90%以上にする。			
	活動計画	活動計画の実施状況		
	① 学校の授業を中心に据えた、[予習→授業→復習]のサイクルのために日々の生活記録を指導に活用する。また、生徒の悩みや不安を把握し助言できるような支援体制を確立する。 ② 定期考査前には、弱点教科の補講を実施して、苦手な教科の補強をめざす。また、欠点保有者との面談を行い、改善策を検討する。			

	<p>③学外のような行事について、生徒への情報提供を丁寧にして参加を促進し、経験の記録をファイルしていくよう指導する。</p> <p>④ホームルーム活動、総合的な学習の時間、学年集会等を利用して、社会に目を開く機会を持たせ、自己の生き方について主体的に考えていけるような進路指導を行う。</p>			
<p>2 自ら進んで行動し、社会性や公共心を身に付けた、豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>(1) 基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>(2) 優れた人権意識や豊かな国際感覚を持ち、地域のリーダーとして活躍できる実践力を養成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①月5回以上の遅刻者をゼロにするとともに、頭髮・服装違反者をゼロにする。</p> <p>②生徒相互のよりよい人間関係を育成するための行事や集会を、各学期に1回は行う。</p> <p>③「人権意識の向上」に関するアンケートにおいて、「あてはまる」と答えた生徒の割合を90%以上にする。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>	
	<p>活動計画</p> <p>①全ての教員が生徒の生活指導に関わり、指導・支援する。また、多遅刻者、多欠席者について保護者にも協力を求める。頭髮・服装検査で違反が目立つ生徒については、担任・学年主任・生徒課長・学年団で情報を共有し、指導する。</p> <p>②人間関係づくりワークショップ（アサーション・トレーニング）を実施する。また学校行事や学年集会等において、人間関係を大切にしたい行動がとれるよう、時節に応じた指導を行う。</p> <p>③人権問題学習を通して、人権意識の高揚と人権尊重の態度を育成する。また全教員があらゆる機会を通じて、人権感覚・国際感覚の育成に向けて生徒を支援する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		

イ 2 学年

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価	次年度に残された課題と方策
<p>1 生徒の個性や創造性を考慮し、進路目標を明確化させるとともに、自信を持って主体的に学ぶ態度を育成する。</p> <p>(1) 学習習慣の確立を図る。</p> <p>(2) 基礎学力の定着を図る。</p> <p>(3) 自己肯定感に裏打ちされた進路目標の確立を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①家庭学習0時間の生徒を5.0%未満にし、平均家庭学習時間を150分以上とする。</p> <p>②各学期ごとの欠点保有者を全生徒の3.0%以内にする。</p> <p>③アンケートにおいて、「学校の教育課程は、生徒のニーズや将来の希望を実現できるよう工夫されている」と答えた生徒の割合を、95%以上にする。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>
	<p>活動計画</p>	<p>活動計画の実施状況</p>	

	<p>①生活記録と能率手帳を活用し、生活習慣を整えたり、時間管理をさせることにより学習時間を確保するようにする。また、学年で教科担当と担任と連携を図り、提出物の提出状況などを担任が把握できるようにする。</p> <p>②定期考査前には、弱点教科の補講を実施して、苦手な教科の補強をめざす。また、欠点保有者との面談を行い、欠点の多い生徒については保護者を含めた三者面談を実施し改善策を検討する。</p> <p>③ホームルーム活動や学年集会において、適切な進路指導を行う。また、生徒の悩みや不安を把握し助言できるような調査方法および支援体制を確立する。</p>			
<p>2 自ら進んで行動し、社会性や公共心を身に付け、地域社会に貢献できる豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>(1) 基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>(2) 人権を尊重する豊かな心を持つとともに、高め合う集団の一員としての自覚を持ち、中心となって活躍できる実践力を育成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①月5回以上の遅刻者をゼロにするともに、頭髪・服装違反者をゼロにする。</p> <p>②生徒相互のよりよい人間関係を築かせ、社会性を育成するための行事や集会を学期に2度以上行う。</p> <p>③「人権意識の向上」に関するアンケートにおいて、「あてはまる」と答えた生徒の割合を85%以上にする。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>	
	<p>活動計画</p> <p>①全ての教員が生徒の生活指導に関わり、指導・支援する。また、多遅刻者、早朝補習の多欠席者について保護者にも協力を求める。頭髪・服装検査で違反が目立つ生徒については、担任・学年主任・生徒課長・学年団が情報を共有し、指導する。</p> <p>②学校行事や集会において、主体的に取り組む姿勢や人間関係を大切に行動がとれるよう指導を行う。</p> <p>③人権問題学習を通して、人権意識の高揚と人権を尊重する態度の育成を図るとともに、あらゆる機会を捉え、人権感覚・国際感覚の育成に向けて全ての教員で支援する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		

ウ 3 学年

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策
<p>1 進路目標の明確化を図り、自ら学ぶ姿勢を育成して、進路実現を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①平均家庭（自主）学習時間を200分以上とし、1時間未満の生徒を昨年度より減少させる。</p> <p>②進路実現に向けて、進路課と連携し、学期に1回以上進路検討会を開く。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>(所見)</p>

	<p>③就職希望者との面談を定期的に行い、卒業時において、全員の就職を達成する。</p> <p>④アンケートにおいて、「学校生活は充実しており、あなたは目標を持って主体的に授業に取り組んでいる」と答えた生徒の割合を、90%以上にする。</p>			
	活動計画	活動計画の実施状況		
	<p>①「学習生活記録」を活用して、常に計画し振り返る習慣をつけさせる。</p> <p>②③進路課と学年団が情報の共有を図り、生徒一人一人が持っている個性や創造性も生かした進路実現を支援する。</p> <p>④個人面談をクラス担任を中心に計画し、必要に応じて、教科担任・部活顧問・養護教諭等の協力も得て実施する。</p>			
<p>2 基本的な生活習慣の確立を図り、人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築けるようにする。</p>	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	<p>①月5回以上の遅刻者をゼロにする。</p> <p>②服装頭髮の違反者を減少させ、再点検指導生徒の割合を1%以下にする。</p> <p>③学校評価アンケートで「あなたは、日々の清掃活動に熱心に取り組み、ゴミの分別を心掛けるなど校内の美化に協力している。」と答えた生徒の割合を、90%以上にする。</p> <p>④学校評価アンケートで「学校行事や部活動に友人や仲間と協力して取り組み、友好的な人間関係を築くことができた。」と答えた生徒の割合を90%以上にする。</p>		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	<p>①保護者との連絡を密にし、協力を得る。</p> <p>②生活習慣や服装頭髮の改善については、本人の自覚を促すのはもちろん、保護者の協力も得られるように連携を図る。</p> <p>③清掃分担の明確化や手順の指導を図る。</p> <p>④不適切な言動に対しては、学年団で早めに対応し、良好な人間関係が再構築されるように各方面からの態勢を整えて指導に当たる。</p>			

(3) 教科
ア 国語科

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		次年度に残された課題と方策
1 予習・復習や課題に誠実に取り組み、自主的に学習する態度を育成する。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①ノートやプリントを効果的に学習に生かしている生徒を80%以上にする。 ②週末課題やノート・プリントの提出率を80%以上にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
2 授業を工夫して学習意欲を喚起し、基礎学力や主体的で深い学びを身につかせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①学校評価アンケートで、授業内容を「よく理解できている」「まあまあ理解できている」と答えた生徒を80%以上にする。 ② 授業にアクティブラーニングやICT機器を学期に3回以上取り入れて、わかりやすい授業を工夫する。 ③図書館や図書館の本を利用した学習を各クラス3回は計画する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
3 様々な視点や豊かな表現に触れ、将来を見据えた発展的な学力の伸長にもつなげる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	① (ア) 読書指導を、各クラスで年3回以上実施する。 (イ) 読書感想文、新聞感想文等の課題の事前指導を各クラスで実施する。 ②図書館利用や図書館の本・新聞記事を活用した授業を各クラスで年3回以上実施する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	① (ア) 実施するに当たりワークシートを工夫する。(読書レポート・読書ノート等) (イ) 読書感想文、新聞感想文等の課題に取り組ませるために、本や新聞記事の選定・書き方指導をする。 ②図書館利用や図書館の本・新聞記事を活用した授業を計画する。			

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
1 生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう、電子黒板等を活用し、演習課題、単元テストなどを実施し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①生徒の授業内容理解度を80%以上にする		(評定)	
	②生徒の授業に対する充実度を85%以上にする。		(所見)	
	③定期考査の欠点者数をゼロにする。			
活動計画	活動計画の実施状況			
	①演習課題を確実に提出させることにより、基礎学力の向上につなげる。 ②電子黒板の活用や教材を工夫する。 ③単元テストや要点整理プリントを活用し、定期考査で内容の確認を行う。			
2 自ら考える態度や知識を主体的に使いこなせる表現力を培う	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①資料等を活用する作業学習等を行い、時事問題や社会的事象に興味を持たせ、各学期に1回以上は文章による表現をさせる。		(評定)	
	②思考力を問う問題を定期考査等で1つ以上出題し、論述問題の白紙解答を5%未満にする。			
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①作業学習や論述問題の出題や自主的な論述課題提出により、文章表現する機会を増やす。 ②記述量を増やすなどして、文章表現の精度を高める。			

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価		次年度に残された課題と方策
1 授業の工夫・改善と充実に努め、ICTを活用した授業を計画的に実施し、確かな学力を身に付けさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①第1、2学年では、定期的に授業で確認テストを5回以上実施し、基礎学力の向上に努める。定期考査において、欠点を取る生徒がいないように努力する。		(評定)	
	②定期テストや実力テストは、生徒にどのような力を身につけさせたいかを考慮し、事前に必ず出題内容について担当教員が十分な検討を3回以上実施する。 ③数学科会または1、2学年の数学担当者会で、ICTを活用した効果的な授業について協議し、授業改善を図る。		(所見)	
活動計画	活動計画の実施状況			

	<p>①単元の学習目標を達成するために確認テストを行う。理解が不十分な生徒に対して再指導・再テストを行い指導の徹底を図る。</p> <p>②「週末課題」、「日々題」等を実施する。効果的な学習ができるように内容を吟味し、学習状況に合わせて、取り組みやすい課題を与える。</p> <p>③学期ごとに授業の理解度を調査するとともに生徒の声を授業改善に反映させる。</p>		
--	--	--	--

エ 理科

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価	次年度に残された課題と方策	
1 理科に対する興味・関心を高め、自ら学ぶ姿勢を身に付けるとともに、科学的なものの見方・考え方を養う。	評価指標	評価指標による達成度		
	①実験・観察を年間5回以上、ICTを使った授業を各学期に、1クラスあたり2回以上実施する。			(評定)
	② 授業評価アンケートにおいて、興味・関心があると回答した生徒を80%以上にする。			(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況		
2 学習習慣の定着と学力の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度		
	① 授業評価アンケートにおいて、生徒の理解度を80%以上、授業内容の満足度を90%以上にする。			(評定)
	② 小单元ごとに必ず宿題を課すか、または確認テストを実施する。			(所見)
	活動計画	活動計画の実施状況		
	① ICT機器を適切に利用したり、小单元ごとに整理プリントを与えたり、問題演習を多く実施することにより、わかる授業の実践に取り組む。			
	② 定期的なノートの提出や小单元ごとの宿題、確認テストの実施により、家庭学習による予習復習など学習習慣を定着させる。			

オ 保健体育科

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価	次年度に残された課題と方策
1 普通救命講習を受講させる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価

	① 1年生の受講率を100%にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(7) 板野東部消防組合と連携を取りながら、心肺蘇生法の実習を実施し、実習を通して命の大切さを理解させる。 ①(4) 傷病等で受講できない者については、後日体育科教員が実施する。))			
2 スポーツテストを利用し、体力の向上を図る。(特に女子の体力強化に重点を置く)	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①スポーツテストの総合評価C以上を70%以上にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(7) 毎時間体づくり運動を実施し、運動量を確保する。 ①(4) 運動中、個々の生徒に対する声かけをこまめに行う。			
3 持久走について標準記録達成者を増やす。	評価指標	評価指標によるうえ達成度	総合評価	
	①標準記録を男子3Km15分以内、女子2Km12分以内とし、達成した者を全体の70%以上にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①(7) 持久走の実施時間数8時間を確保する。 ①(4) 毎時間真面目に取り組む態度をしっかりと指導する。 ①(4) 体育理論を通じて合理的疾走フォームの理解をさせて実践させる。			

カー1 芸術科 (音楽)

* 総合評価：目標を大きく達成…A, 概ね目標を達成…B, 目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標 (と活動計画)	評価	次年度に残された課題と方策	
1 授業に意欲的に取り組み、音楽を愛好する心情を育て、感性を高め、主体的な表現活動や鑑賞に取り組む姿勢を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①全授業時数のうち30%以上の時間で、自己評価表又はレポートを提出させる。 ②グループ演奏の全練習量の中に占める「合わせ練習」の割合を30%以上にする。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
	①音楽の諸領域を幅広く学習することで、音楽を深く味わおうとする意欲を育てる。 ②グループで合わせる練習を通して自分のパートを確認するとともに、メンバーと協力することの大切さを学び、コミュニケーション能力を			

育てる。

カー2 芸術科（美術）

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策	
授業に意欲的に取り組み、美術を愛好する心情を育てる。さらに感性を高め、主体的に表現活動や鑑賞に取り組む姿勢を育てる。	評価指標	評価指標による達成度		
	①授業評価アンケートにおける「興味・関心がある」「充実している」と答えた生徒の割合を90%以上にする。			(評定)
	②主体的・意欲的に個性的な自己表現活動に取り組んでいるかを把握するために、作品の進行チェックシートを毎学期の制作作品ごとに提出させる。			(所見)
	③期限までに生徒自身が納得のいく作品を完成できるよう配慮し、基本的な知識・技能の習得を図り、作品の提出率を100%にする。			
活動計画	活動計画の実施状況			
	①アンケートの結果を参考にし、いろいろな参考作品を紹介しながら授業において、興味・関心を持たせる指導を心がける。			
	②視聴覚教材を活用し、適切な助言により生徒が制作に関して自分の意見を発表する機会を設け、表現活動や言語能力を伸長する。			
	③進行が遅い生徒には放課後、個別指導的な時間を設け、作品完成を補う。			

カー3 芸術科（書道）

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評価	次年度に残された課題と方策	
1 授業に意欲的に取り組み、書を愛好する心情を育て、感性を高め、主体的な表現活動や鑑賞に取り組む姿勢を育てる。	評価指標	評価指標による達成度		
	①授業評価アンケートの「興味・関心がある」「充実している」生徒の割合を90%以上にする。			(評定)
	②基本的な知識・技能を身に付け、主体的な表現活動を促し、単元ごとの生徒の作品や自己評価カードの提出率を100%にする。			(所見)
	③創作力を高め、自己表現としての作品を認め合う姿勢を養うために、年間3回以上創作指導を行う。			
活動計画	活動計画の実施状況			
	①校外での書道展の案内や作品の紹介、更に書道の歴史を確認し、多様な教材を取り入れる。			

	<p>②視聴覚機器を用いて範書し、実技の向上を図る。生徒一人一人の個性や創造性をいかした個別指導を行う。</p> <p>③作品の制作意図を明確にして文章にする。グループ学習の形態をとりいれ、お互いの感性を認め合い尊重する態度を養う。</p>			
--	--	--	--	--

キ 英語科

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		次年度に残された課題と方策
<p>1 生徒が自ら学ぶ姿勢を養い、確かな学力を身につけさせる。</p>	<p>評価指標</p> <p>① 授業評価で、生徒が復習を「きちんとしている」の回答が80%以上である</p> <p>② 授業評価で、授業の内容を「良く理解できている」または「まあまあ理解できている」の回答が80%以上である。</p> <p>活動計画</p> <p>① 学期の最初及び中間考査後に、次の考査までに身につけるべき知識・技能及びその評価方法を生徒に理解させ、計画的な学習活動につなげる。</p> <p>② 毎授業で、単語や基本構文などの確認活動を行う。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
			<p>(評定)</p>	
		<p>活動計画の実施状況</p>	<p>(所見)</p>	
<p>2 多角的な視野と多様な価値観を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>① コミュ英：協働活動を含むパフォーマンステスト（プレゼンテーション等）を年2回以上実施し、そのフィードバックを行う。</p> <p>② 英表：社会問題等について自分の意見を論理的に書くエッセイライティングのテストを各学期1回以上実施し、そのフィードバックを行う。</p> <p>活動計画</p> <p>① コミュ英：プレゼンテーション等を行うための知識や技能を段階的に養う授業内容及び課題を実施する。</p> <p>② 英表：自分の意見を論理的に書くための知識や技能を段階的に養う授業内容及び課題を実施する。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
			<p>(評定)</p>	
		<p>活動計画の実施状況</p>	<p>(所見)</p>	
<p>3 授業の工夫改善に努め、確かな学力を養い、進路希望の実現を目指す。</p>	<p>評価指標</p> <p>①定期考査などの評価方法及び授業内容等についての検討会を各学期1回以上実施する。</p> <p>活動計画</p> <p>①新テストに対応した授業及び評価方法につい</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価</p>	
			<p>(評定)</p>	
		<p>活動計画の実施状況</p>	<p>(所見)</p>	

て、情報交換し共通理解を持つ。

ク 家庭科

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		次年度に残された課題と方策
1 生活に必要な基礎的な知識や技術を習得させるとともに、生活の充実向上を図る能力を育成し生活の自立をめざす。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①単元ごとの実習・実験を全授業時数の5/10（50%）実施をめざす。		（評定）	
	②持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる消費者力を育成するために、消費者庁作成教材「社会への扉」を活用した授業を2回以上実施する。		（所見）	
	活動計画	活動計画の実施状況		
	①(7)各単元ごとに研究や調査を取り入れた学習を1回以上実施する。			
	①(4)実習の手順を、ICTを活用して動画で表示し、理解を深めさせる。			
	②(7)消費者問題の現状を把握させ、解決方法を考えさせるために、消費者庁や国民生活センターのWebサイトを活用する。			
	②(4)学習ノートを活用し、定期的に提出させ、取り組み状況を確認する。			

ケ 情報科

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

重点課題・重点目標	評価指標（と活動計画）	評 価		次年度に残された課題と方策
1 情報モラルについて理解し、正しく実践する力を身に付けさせる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
	①定期考査でモラルに関する問題の正答率を平均80%以上にする。		（評定）	
	活動計画		活動計画の実施状況	
		①定期的にモラル小テストを行い、知識の定着を図る。		
	②情報モラルに関する事例を数多く提示し、意識を高める。			